

2019年度第1回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2019年4月18日（木） 午後6時30分から
- 2 場所：国分寺労政会館 第1和室（3階） （国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名  
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、堀越洋一郎、堀渡  
欠席者：清田義昭、手嶋孝典、矢崎省三  
事務局：雨谷逸枝

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2019年3月31日現在

正会員 83名 2団体 賛助会員 46名 1団体、計 129名 3団体（合計 132）

※3月12日現在会費未納者

正会員 4、賛助会員 8（うち2年分2） +2017年度賛助会員 1

- ・2019年4月1日現在

2018年度末で退会希望の出ていた正会員3名が退会することによって

正会員 80名 2団体 賛助会員 46名 1団体、計 126名 3団体（合計 129）

※4月1日現在の会費未納者

正会員 3、賛助会員 6（うち2年分2）

→例年通り、総会出欠締切り日までに納入しなければ2年未納者を退会とする。

※ただし2年未納者は賛助会員なので、総会の定足数には関わらない。

(2) 第2号議案 『多摩デポブックレット』制作の状況について【報告・協議】

<ブックレット第13号>

・3月20日校了。3月29日制作費支払い。支払額320,240円（前回+2万円）。掲載した図版が多かったため。あと5,000円の上乗せが先方の希望だったが、何とか了承してもらった。

・寺田先生からは、著者寄贈分10冊以外に、50冊を購入していただいた。

・4/3事務所搬入、当初のけやき出版預けは通常通り300冊、事務所700冊。

<ブックレット第14号>

・塩見氏からは講演テープ起こし部分を補う追加原稿が届き、雨谷が編集中。総会で来年度予算での支出の承認を得次第、印刷開始できるよう、作業を進めている。

<けやき出版からの意向>

・2月に、今後の制作費の1割程度の値上げの要望が来た（用紙代・運搬費等の値上がりによる影響が大のため） 販売分のけやき出版取り分は55%で変わらず。

→第13号は図版が多いという別の要素もあり、従来より上乗せした制作費を支払った。

→次の第14号からは、値上げ要望に対応しなければならない。そのことは新年度予算の積算にも反映させている。また正会員・賛助会員には、発行したブックレットはその都度一冊ずつ配布する仕組みは変更しないが、第14号からは市販価格（奥付に表示）を600円から800円に上げていくことを提案したい。

→ 協議の結果、今後も発行を続けるため定価800円を基本とすることを了承した。

(3) 第3号議案 第35回多摩デポ講座の実施結果について【報告・協議】

- ・『オーブンブックカメラを使った書誌情報作成と書誌同定のしくみ』と題した、新開発の機器

実演付きの講座を、小平市中央図書館の視聴覚室にて、同館の会場提供の協力を得て行った。

- ・日程：3月22日（金）午後1：30～5：00
- ・講師 結城智里氏：（一財）機械振興協会建材研究所 BIC ライブラリ、関乃里子氏：（株）ブレインテック、吉本龍司氏：（株）カーリル、他に講師関係者2名
- ・参加者：23名＝理事・事務局6、会員（個人・団体所属の方）5、会員外12（うち大学図書館2、公立図書館5）

結果について

- ・新たな機器の説明と、それを図書館の未整理資料を整理に活用した実証実験とその方法・結果の説明があった。その後、多摩デポ側（齊藤）からこれに注目する理由、多摩デポの課題への活用可能性を話した。3人の講師には、丁寧かつコンパクトに説明していただいた。
- ・通常の広報は行ったが、参加人数はあまり伸びなかった。自律的に仕事の仕方を考える現役職員や、ミニコミの収集整理や手作りの図書館活動をしている市民など、各方面の方が大勢参加されれば、それぞれに持ち帰れ、今後の役に立つことのある内容だったのではないかと思われ、その点では残念だった。
- ・年度末の昼間で時期は悪かったが、日程設定によってはもっと参加されただろうか？
- ・内容的には、参加が見込まれば、再度行ってもいい内容だった。  
→ 多摩地域公立図書館大会地域資料分科会で取り上げることも考えられるのではないか。
- ・長期的には、書誌事項に必須なものとして書影を位置づけたい。
- ・奥付の映像もほしい。
- ・参加した会員外の市民が良い感想を多摩むすび ML に出してくれている。参加した図書館職員（会員ではない）2名も、『多摩デポ通信』の依頼に、いい原稿を寄せてくれている。
- ・最後に多摩デポから趣旨説明した内容（この機器を書誌割れしている広域的な地域資料の同定に役立てられないかと注目している）は、講座の中では議論を深められなかった。

（4）第4号議案 「TAMALAS 個別処理システムの活用に関する調査」の結果について【報告・協議】

- ・4月15日までに28自治体から、回答が届いている。回答期限は3月1日から15日までだったので、館長会事務局から送ってもらえたにも関わらず、回答の戻りには時間がかかった。
- ・取りまとめた内容は別紙で配布する。
- ・「TAMALAS 個別処理システム」の方は、多摩地域の図書館ではある程度は知られるようになり（認識程度は図書館によってかなり違うが）ある程度は使われている実態が見えてきた。
- ・まだ「知らない」と答えた自治体があった。
- ・内容の分析と評価をすることで今後の活動に多いに生かすことができる。それが求められる。
- ・協力してくれた各自治体には、報告を返す必要がある。配布してくれた事務局の武蔵野市立図書館長に報告の上で配布したい。
- ・「一括処理システム」については、申請した3自治体に対し、年度内に聞き取り調査をする予定だったが、まだできていない。

（5）第5号議案 2019年度通常総会議案書の検討について【報告・協議】

- ・第1号議案 2018年度事業報告、第3号議案 2019年度事業提案について、提案、議論できていなかった部分の案を別紙で配布、事務局より説明した。
- ・第3号議案冒頭の「基本方針」は、状況が変わらないので、内容は変えられなかった。
- ・バーチャル共同保存図書館、リアル共同保存図書館準備の項も、ほとんど変えられなかった。

- ・「図書館業務に関わる調査研究事業」について、どういう事業を企画するか、議案書にはどう書いておくか議論、確認されたい。  
→大筋で了承されたが、確定できなかった部分はメーリングリストで意向を伺う。
- ・第2号議案 2018年度決算報告、第4号議案 2019年度予算提案を別紙で配布、会計担当理事から説明した。
  - ・会員数の減少傾向が続き、NPO 法人発足時に前身団体から引き継いだ資金が枯渇してきている。2月理事会では、会費値上げ案を打診し了承されていたが、年度末に会員から大口の寄付金をいただくこともあり、現在の会費のままで予算を立案した。
  - ・予算案では、次年度の会費値上げは予定していないが、会費振込の依頼文書や『多摩デポ通信』で、会員に対し財政状況が厳しいことを説明しご寄付や、賛助会員には納入の際に口数を増やすことをお願いしたい。
- ・第5号議案は定款変更議案で、2月理事会で内容は確認している。
- ・第6号議案は任期満了に伴う新役員の選出である。現任の理事のうち、7人は再任だが、矢崎理事が今期で退任する意向である。事務局ではこの間、新たな理事補充者を検討し打診を行ってきたが、受けてもらえず、候補者を提案できなかった。間に合わないので、1名減員の7名の理事候補を提案する。  
→予算案については、特に収入増の方途に関して議論した。理事会・事務局としても努力することを確認し、決算報告、予算案を含めて了承した。

(6) 第6号議案 2019年度通常総会記念講演会の内容について【報告・協議】

- ・総会記念講演会の講師を清田義昭副理事長（出版ニュース社代表）にお願いする。
- ・講演の内容やタイトルについて、ご本人の提案を元に決定する。

(7) 第7号議案 『多摩デポ通信』第50号の発行について【報告・協議】

- ・総会案内号として4月下旬に発行する。総会の招請状、総会議案書、委任状用紙、新年度会費振込用紙、さらに『ブックレット第13号』を同封して、4月27日（土）には発送する予定である。図書館へは「里親探し」事業の2019年度案内文も送る。
- ・内容としては
  - ・第35回多摩デポ講座の報告と参加者からの感想 → すでに原稿が寄せられている。
  - ・「TAMALAS 個別処理システムの利用実態調査」結果の概要報告
  - ・『ブックレット第13号』発行の紹介（同封して会員には送付する）
  - ・厳しい財政状況の説明と寄付金のお願い、賛助会員の複数口納入のお願い
  - ・その他

(8) 情報交換

- ・出版ニュース社の移転に伴い、数十年にわたり社内に収集・保管されていた、出版関係出版物及び非刊行資料約3000点、と図書館関係出版物及びレファレンス関係出版物約600点について、簡易な書誌を与えリストを作成した（ボランティアの主力は多摩デポ事務局及び協力者）。
- ・社は4月末には移転となるので、これらの資料は社外に運び出した。図書館関係出版物及びレファレンス関係出版物は、蔵書にして役立ててくれる図書館があれば寄贈したいとの清田代表の意向で、現在、多摩デポ事務所に一時置かれ、まず多摩市立図書館の新刊準備・選書担当者に見てもらおうことになっている。

- ・出版関係出版物及び非刊行資料約 3000 点は、幾つかの大学図書館の受け入れ意向を打診した後、散逸を避けるため奥多摩湖畔の「奥多摩ブックフィールド」に運ばれた。現在、書架並べの準備中である。

【多摩デポ記事】 特になし

【共同保存図書館関連論文】 特になし

- ★ 次回の事務局会議(2019 年度第 1 回) 4 月 日 ( ) 午後 6 時 30 分～ (未定)  
会場: 未定
- ★ カーリルとの共同研究 第 37 回定例会 4 月 19 日 (金) 午後 6 時 30 分～  
会場: 立川市柴崎学習館 和室
- ★ 次回の理事会 (2019 年度第 1 回) 月 日 ( ) 午後 時 分～  
会場:

## 5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、齊藤誠一理事、田中ヒロ理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2019 年 4 月 18 日

議長

議事録署名人

議事録署名人